



# 関門景観ものがたり

—これまでの10年　これからの10年　10のアクション—

関門景観協議会 [下関市・北九州市]

10のアクション本



# はじめに

## 10年前にはじまった 下関市と北九州市の関門景観ものがたり



関門景観は、両市民をはじめ、すべての人々にとって、かけがえのない貴重な財産です。

下関市と北九州市は、平成13年10月に「関門景観条例」（同一名称・同一条文）を制定し、共同して、魅力ある関門景観の形成に取組んできました。

平成23年10月に条例の制定から10年という節目の年を迎え、より多くの方々に関門景観を知っていただき、みなさまと一緒に魅力ある関門景観を守り・育て・創り・将来に引き継いでいきたいと考え、10のアクションに取組んでいます。

ここに10のアクションを、ひとつひとつの「関門景観ものがたり」としてご紹介します。

平成25年6月  
関門景観協議会 [下関市・北九州市]



下関市の火の山より



## 関門景観計画・ 関門景観条例の特徴

### ◆ 全国初

全国で初めて県境を越えて、同一名称・同一条文の「関門景観条例」を制定しています。

### ◆ 相互

お互いの都市、船から見た景観に配慮した整備のための制度で、景観法を活用し、両市の景観計画に関門景観の形成に関することを定めています。

### ◆ 広域景観

海峡及びその両岸を関門景観形成地域として指定しています。

### ◆ 色彩誘導

建築物等の配置や形態、緑化のほか特に色彩誘導に重点を置いた景観形成基準を定めています。



# 10のアクションとは

10年の「10」（じゅう・てん）をキーワードに、こどもからおとなまで幅広い年代のみなさまに向けて、10の取組みを行っています。

これまでの10年  
これからの10年  
10のアクション

1  
10歳

2  
10選

3  
転換

4  
点検

5  
展望

6  
10メッセージ

7  
展示

8  
.com

9  
10のアクション本

10  
ジユウ

関門景観年表

## もくじ

はじめに・関門景観計画・関門景観条例の特徴  
10のアクションとは

1  
2

### 関門景観のひとつひとつのものがたり

1 話	10歳のこどもが描く関門景観の未来いろいろ絵画	3~4
2 話	五感で感じる関門景観・10選	5~6
3 話	広域景観の取組みにおける転換	7
4 話	これまでの成果を点検	8
5 話	これからの未来を展望	9
6 話	10年記念のメッセージ	10~17
7 話	巡回展示	18
8 話	関門景観.com	19
9 話	10のアクション本	19
10話	関門景観とのジユウな関わり	20
∞ 話	関門景観年表	21~22

# [1話] 10歳のこどもが描く関門景観の未来いろいろ絵画

- ◆ 関門景観条例を制定した頃に誕生した小学校4・5・6年生の10歳前後の児童のみなさまに、10年後にもっと素晴らしい風景になっていることを願って、絵を描いていただきました。

あなたの未来にひろがる関門景観は、  
どんな「うみ」「やま」「まち」「ひと」「いろ」  
をしていますか。

## 入賞作品

### ★ 関門景観大賞 ★



「海で生き物と泳ぐぞ～」  
田中 のぞみさん（下関市・長府小4年）

わたしは、10年後の下関の「海」「山」「まち」はどうなっているのかな、と思いこの絵をかきました。  
未来の平和をねがう思いを絵にこめました。  
この絵をかくことで、あらためて、未来について考えることができました。

### ★ 下関市長賞 ★



「十年後の関門の四季」  
大川 卓真さん（下関市・角倉小5年）

十年後の関門の景色を、四季の流れで表現しました。  
春は、きれいな星と桜なみ木。夏は、緑あふれる山と花火。秋は、美しい満月と紅葉。冬は雪積もる山。  
大学生の僕がいます。いつも美しい自然の中でくらしたいです。

### 実施概要

- 募集期間 平成23年7月～平成23年9月5日
  - 応募対象者 下関市・北九州市内の小学校・特別支援学校の4・5・6年生
  - 募集作品
    - テーマ 関門景観の『未来いろいろ』
    - サイズ 四つ切の大きさの画用紙
    - その他 作品は横書き・縦書き  
描画材料は水彩画・クレヨン・はり絵等
  - 表彰内容
    - ★ 関門景観大賞 1名
    - ★ 下関市長賞・北九州市長賞 各1名
    - ★ 入選 10名
- \* 19校・86名の方にご応募いただきました。  
ありがとうございました！



表彰式in門司港レトロ口展望室



審査会

### ★ 北九州市長賞 ★



「未来の関門かいきょう夏まつり」  
吉富 日向太さん（北九州市・白野江小5年）

お盆の13日に、毎年行われる関門海きょう花火大会。  
10年後、10さいのぼくは20さいになってこの花火を見ている。ぼくは船に家族みんなと乗って、海の上から花火を見たい。  
工夫したところなど…黒でぬりつぶすところをくふうした。

★ 入 選 ★



**「海峡夢タワーへひとつび！」**  
木本 力哉さん（下関市・角倉小5年）  
ばくがすんでいるしものせきからにじのは  
してあるいてわたりたいです。



**「世界の関門橋」**  
岡田瞳舞さん（下関市・西山小4年）  
下関のふぐが10年後世界的に有名になつ  
て関門橋にふぐの像がたくさんかざられる。  
人道はガラスぱりになり、関門の海の中が見  
えるようになる。世界文化いさんになって有  
名になる。夜はふぐがいっぱいに光る。



**「下関と門司をむすぶ美しい花火」**  
利光 祐紀さん（下関市・王江小5年）  
家族でこの花火をみてキレイで美しい花  
火だったので絵にかきました。未来的な下関は  
観こう客がもっとおとずれるゆたかな下関  
になってほしいなと思いながらこの絵をか  
きました。



**「みらいの関門大橋」**  
岡 優作さん（下関市・神田小6年）  
ばくが、未来を想像して、かいた絵の、一番  
上は、火の山と北九州をむすぶモノレール、そ  
の下には、通じよう車で、その下が、トラック  
専用で、その下には、海をゆっくり見れる歩道  
橋があつて、その下に、電車が通っています。



**「10年後の関門橋」**  
作田 和可さん（下関市・養治小5年）  
この絵は、十年後の関門橋をイメージして  
書きました。十年後は、上はロープウェイで  
下が人が歩く道です。ロープウェイは、カラフル  
でいろいろなしゅるいがあります。歩道は、  
海のギリギリにあって、はく力があるように  
しました。十年後、本当にこうなつてくれたら  
うれしいです。



**「関門海きょうの未来」**  
勇士 大貴さん（北九州市・大里柳小6年）  
関門海きょうがもっともっとカラフルにな  
ってほしいからこの絵を描いたことと、いろ  
いろある中で、関門海きょうの絵を書くこと  
にしました。それと、この絵にチャレンジしよ  
うと思ったからです。



**「関門海峡の未来」**  
中山 涼さん（北九州市・大里柳小5年）  
関門橋には、リニアモーターカーが走って  
いて、電力を使った乗り物がたくさん開発さ  
れて、小さな空港でも離発着できるようにな  
る。山には風力発電が建ち、各家に発電シス  
テムがつく。今よりもっと交通が便利になつ  
て、地球上にやさしいエネルギーを使って、人々  
は生活をしている。



**「みんながおになれる未来の関門かいきょう」**  
原田 紗季さん（北九州市・大里柳小4年）  
わたしは未来の関門かいきょうをみて、み  
んなが、えがおになれるようにという思いを  
こめて、書きました。わたしが一番むずかしか  
ったのは、しゃぼん玉の感じを出すために外  
がわをこく、内がわをうすくぬつたところで  
す。上手にできてよかったです。



**「門司港名物海底列車」**  
大島 愛加さん（北九州市・門司中央小5年）  
この作品は関門海きょうにリフトと海底列  
車が通っているという絵で完成まで三日か  
かりました。白い輪は海底トンネルで、魚と遊  
泳している気分になれるというものです。



**「未来の「うみ」」**  
浜本 誠也さん（北九州市・柄杓田小5年）  
はじめは、関門橋の下に道ができる、人が  
歩けるといいなあと思ったけど、きけんだと  
思い、人道が、暗いイメージがあるので、水族  
館のように、歩きながら、魚が見れるとい  
いなあと思いました。海の水ももつときれいに  
なつてほしいです。

こどもの頃から、地域のことを思う気持ちを育むことは大事です。  
10年後の関門景観がどのような姿になっているか、  
みなさんも思い描いてみましょう！

## [2話] 五感で感じる関門景観・10選

◆ 「五感で感じる関門景観」を広く募集し、『五感で感じる関門景観・10選』を決定しました。

主 催：(社) 山口県建築士会下関支部  
(公社) 福岡県建築士会北九州地域会  
共 催：関門景観協議会

毎日の暮らしのなかで、  
関門景観をより立体的、感覚的に、  
五感で感じましょう。

●香りの景観・●おいしい景観・●さわれる景観・●音の景観・●伝えたい景観  
『五感で感じる関門景観・10選』を決定しました！



●渡船で感じる潮の香りと  
流れる景色



●おいしいがいっぱい唐戸市場



●さわって遊べる門司港駅前  
噴水広場



●歴史を感じる火の山要塞跡



●関門海峡から階段坂道を吹きぬける  
心地よい風



●霧と霧笛



●永く続く壇之浦の漁の暮らし



●人と車の二層の関門トンネル



●花々で彩られた赤煉瓦建物群



●唐戸の往年の繁栄を語る建物群

### 『五感で感じる関門景観・10選』の決定まで

#### ●公募（10選の素材募集）【応募総数 176件】

募集期間：平成23年9月1日～平成23年9月30日

応募内容：概ね「関門景観形成地域」内にあり、将来にわたり継承したい関門景観  
\*五感で捉えたもの

#### ●ウォッチング（10選候補を巡るバスツアー）【候補45件】

日 時：平成23年10月30日（日）9：30～17：30

参 加 者：92名（大学生・有識者・景観まちづくり団体・建築士会・両市）

#### ●ワークショップ（意見交換・10選の選出）\*ワールド・カフェ形式

期 日：平成23年11月3日（木・祝）13：00～16：30

参 加 者：105名（大学生・公募・有識者・景観まちづくり団体・建築士会・両市）



## [2話] 五感で感じる関門景観・10選

### 参加の皆さんからのコメント

昼、夜、天気によってその見え方は大きく変わり、それによさがある。

両市の方々との交流が最高でした。

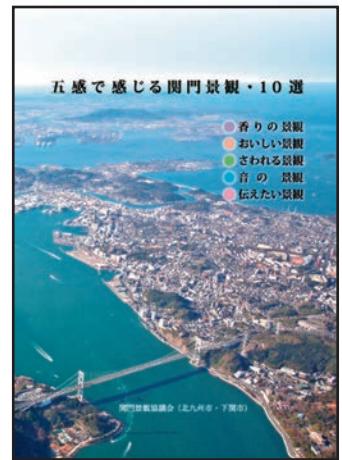
路地に溢れだす生活の匂い、船溜まりで揺れ動く船など古くから人々が築いてきた歴史や生活によって成り立つ風景がここには残っている。

他の人が何に興味を持ち、何を考えたかに触れられる貴重な機会でした。

同じ場所でもスパイスが変われば違う魅力が味わえる。

後生に残すべき風景がたくさん存在していることを知りました。

地元の知らない景色を見ることで、あらためて、関門の良さを確認することが出来て良かったです。



五感で感じる関門景観・10選  
 ●香りの景観  
 ●おいしい景観  
 ●さわれる景観  
 ●音の景観  
 ●伝えたい景観

ハンドブックを発行!  
 応募のコメント、写真、マップを掲載し、10選の魅力を分かりやすく紹介しています。

### 五感で感じる関門景観・10選探見（たんけん）物語～海を渡って新たな発見～

平成24年秋にも、両市の建築士会と関門景観協議会が共同でウォッキング＆ワークショップを実施しました。

● ウォッキング＆ワークショップ  
 日 時：平成24年10月28日（日） 9:00～18:00  
 参 加 者：78名（大学生・公募・有識者・建築士会・両市等）



### 参加の皆さんからのコメント

景観から見えるものは社会の仕組み、景観を良くすることは社会を良くすること。

地元・そして近隣地区のことをしつかり考えていきたい。

景観の考え方、他の方の思いを再確認出来、市民として景観を守っていくにはどうしたらよいか等の認識を改めることが出来そう。

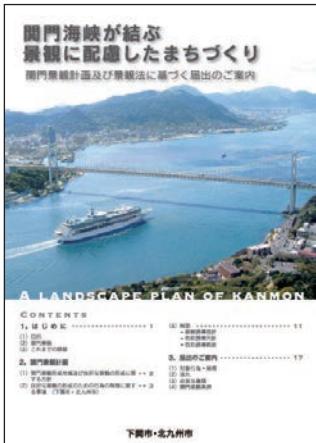
関門景観の持つ魅力・感動を発見し伝えましょう。

まちの人々が、まちについて意見を出し合い、よりよいまちづくりをしていくことは重要だと思うし、自分もその一人として参加してみたい。

景観は見る人によって感じ方が違うと思うのですが、WSを通していろいろ人の感じ方を聞けて新たな発見があった。

10選やその周辺のよいところ・改善が必要なところ等を記載した「景観チェックシート」や、大学生のみなさまには「関門景観レポート」を作成していただきました。\*詳しくは4話をご覧下さい!

- ◆ 下関市と北九州市は、平成13年に関門景観条例を制定し、景観誘導を積極的に図るエリアの指定や基準を策定し、届出制度を運用してきました。
- ◆ 景観法の制定(平成16年)を受けて、関門景観計画を策定、関門景観条例を改正し、平成23年度より法に基づく制度を運用しています。



基準の内容等は、「関門海峡が結ぶ景観に配慮したまちづくり」パンフレット、関門景観ポータルサイトをご覧ください！

古いものを大切にする一方で、新しい建物はそのデザインを追求していくまちづくりに敬意を表します。

海と山を身近に感じられるのがよかったです。古いものを大切に残されているところが魅力。

### 広域景観の形成に関する講演等の実施

広域景観の形成に関する市民向けの講演や意見交換、視察の対応、全国の自治体へのPRなどを行っています。



色彩の統一による街並みが印象的だった。

どのように地域住民と連携をとり、継続していくか、興味深く勉強になった。

海峡景観はここだけのもの、大事に育てて欲しい。

### 後援等に関する基準を策定

- 団体等が開催する関門景観に関する事業について、関門景観協議会の後援や共催の基準を定めました。  
基準は、
  - ・ 関門景観の形成に寄与すると認められるもので、公共性があること
  - ・ 広く両市の市民を対象として行われる事業であること
  - ・ 両市内が開催地であること
 などです。

この取組みを両市の市民のみなさまや  
広く全国の方々に知っていただきたいと  
考えています。

### 広域的景観形成に関する報告書

- 土国交通省が「良好な景観形成検討懇談会」を設置し、広域的景観形成について、その意義や目的、取組状況、取組方策をまとめました。平成24年6月に国土交通省のホームページにて公表。  
関門景観の取組みについても、掲載されています。  
URL : [http://www.mlit.go.jp/toshi/townscape/toshi\\_townscape Tk\\_000018.html](http://www.mlit.go.jp/toshi/townscape/toshi_townscape Tk_000018.html)

- 平成24年秋に開催した「五感で感じる関門景観・10選探見(たんけん)物語～海を渡って新たな発見～」にて、10選やその周辺について「景観チェックシート」(よいところ・改善が必要なところ等)を作成していただきました。
- また、大学生のみなさまには「関門景観レポート」を提出していただきました。
- その中からいくつかご紹介します。

### 景観チェックシートのご意見

回答数は、計203件 \*参加者数は78名  
 全体のこと 4件  
 下関のこと 93件  
 門司のこと 106件

完成度の高い施設があるが、群としての統一感、細部、アイテム等が不統一。

景観とは、社会的なホスピタリティの視点があると考える。

#### 全体のこと



【壇之浦船溜まり】  
まちなかにある漁港の景観が、古くから現在に続く時間を感じさせる。

#### 門司のこと

海峡の持つ豊かさを減じそうなもの、特に大きなものをつくるときには注意をして欲しい。

【大里の赤煉瓦建物群】赤煉瓦と緑やバラ等とのコントラストが良く、赤煉瓦の建物が映えていた。時間景観の美しさが良かった。

#### 下関のこと

【矢筈の階段坂道】階段坂道からの対岸の景観は、港町ならではの景色だと思います。頬を風がなでるさわやかさ！生活感もある景色だと思う。

壇之浦船溜まりから赤間神宮前の潮溜まりに行く途上にある老朽建築物は異質であった。  
周辺の建物が地域の資産を引き立たせるような配慮が必要。

【唐戸の伝統建築物】歴史的建造物が点在している。これらをどういう形で線的、面的景観としてつなげていくのか課題。

【巖流島】巖流島に上陸するのではなく、俯瞰的に見ることができた体験は貴重。

### 関門景観レポートのご意見

山口県・福岡県内の大学より参加の9名の学生のみなさまにご提出いただきました。

【全体のこと】関門海峡を軸として、門司・下関には他にはない歴史的景観を多く有していて、この景観はかけがえのない財産であると考えています。これら形ある歴史を残していくことは、次の世代にも歴史を学び、新たな未来を創造していく手助けになると考えているので、今後もこのような活動を、地域や行政などが連携していくことが大切だと感じました。

【壇之浦のよいところ】住宅に船を収容できる点が、個性的で印象に残りやすく、また、昔から漁業をその土地で行われていることを示すことができると感じました。

「視覚から歴史を感じその土地での生活も感じられる」という面白い財産だと自分は思いました。



【改善の必要があるところ】10選に選ばれている景観が点々として街の活性化としては改善すべきだと考える。だからひとつとひとつの景観を繋ぐ景観が増えていけば良いと思う。

### 関門景観の変化をたどっています！

- 平成16年8月の届出制度開始以降、関門景観形成地域内で建築物等の新築等に際し、景観の協議を行ってきました。
- 行政では、届出物件の完成後やいろいろな視点場からの景観を撮影しています。



貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

景観協議のプロセスはとても大事です！  
地域の景観に興味を持って、  
みなさんで点検してみましょう。

魅力ある関門景観をつくるためには、  
どのような取組みが必要でしょうか。

魅力的な関門景観を目指して…

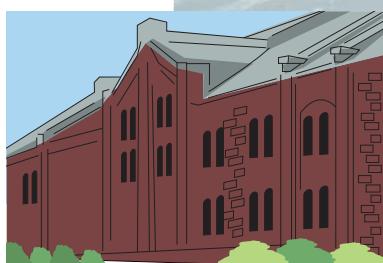
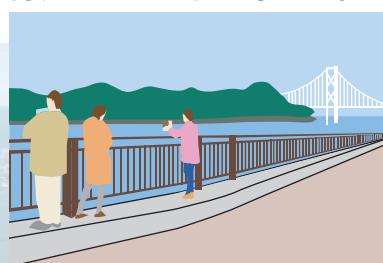
- ◆ 海峡や山並みの景観を守り、まとまりのあるまちなみにしたい。
- ◆ 海峡を舞台とした歴史を未来につないでいきたい。
- ◆ いまよりさらに楽しい場所にしたい。
- ◆ 関門ならではの景観をもっと増やしたい。

## 関門景観の未来

建物が自然やまちなみと  
合っていると素敵だな。



色んなところから関門海峡を  
身近に感じられて楽しい。



歴史的建造物が大切に  
されているまちって温かい。



関門景観は昼も夜も  
きれいだな。



みんなで関門景観の未来をつくって  
いきましょう。

関門景観に関わる16名のみなさまにメッセージをいただきました。

**質問1 関門景観を振り返って**

**質問3 将来の関門景観に向けて**

**質問2 あなたが思い描く関門景観の将来は**

**質問4 さいごに応援メッセージ**

もしくは、自由記載

### 関門景観審議会 会長 坂本 紘二 さん



1968年3月九州大学工学土木工学科卒業。1973年3月九州大学大学院工学研究科博士課程単位修得退学。1973年4月九州大学工学部土木工学科助手（道路工学研究室所属、土木計画学・土木技術史・技術論専攻）。1995年4月下旬市立大学経済学部教授（担当科目：環境、技術と資源、都市環境論）。2007年4月公立大学法人下関市立大学学長。2010年4月国立大学法人山口大学監事（現）。

#### 事業者と行政や市民、専門家が話し合いを重ねながら、協力的に知恵や工夫を取り入れるやりとりのプロセスが最も重要

1 潮の流れのダイナミズム、途切れることなく行き交う多くの船、日差しで変化する水面と対岸の光景、それに間に浮かぶ夜景、……その時その場で実際に様々な表情を見てくれる、海峡空間のその景観の素晴らしさは、この10年間、段々と磨きがかかってきているように思う。

同時に、沿岸近くにまとまりなく建てられて行く高層マンションが、その素晴らしさを壊してはしないか、と懸念や不安も生じている。

2 関門景観条例の趣旨をのみこむことのできる業者が増え、行政や市民や専門家のさまざまなお要請に応じ、話し合いを重ねながら、協力的に知恵や工夫を取り入れるといったやりとりのプロセスが、これから先の関門景観にとって、最も重要なと思う。

そのようなかかわりと想いのこもった多くのやり取りのプロセスが、ずっと先々まで物語として市民の間でもっと語り合われるようになれば、きっと関門景観、関門空間に一層磨きがかかるに違いない。

3 魅力的な関門景観を引き継いでいくために必要なこと、期待することは：

- ・より多くの人々がよりよい海峡空間の形に関心と興味を抱き、海峡空間への思いを語り合うようになること
- ・そのような両市民による語り合いや話し合いを通して、海峡空間の特に沿岸部の将来イメージが打ち出され、そのイメージの実現に向かって構築物が建てられるようになること
- ・海峡を囲む沿岸部のウォーターフロントがもっと長く広く開放され、多くの人々が水辺のどこからでも海峡の風景をより一層楽しめること

4 これまでの取り組みが持続し、取り組み自体により一層磨きがかかるよう応援しよう。

### 関門景観審議会 委員 浅田 典生 さん

#### 私は生活者・職能者として能動的に創造的に関わることを望んでいます

1 対岸下関は、スカイラインが山の稜線を超える矩形板状の建物が増えたことで背景が隠され、景観に奥行き感が乏しくなりました。一方門司港は、近年優れた感性や固有の歴史・文化を感じさせるものが退場し、匿名的な景観に変わりつつあります。関門の景観には、これまでつくり手、見守り手として関わりましたが、未だにまちの魅力を削いでゆく開発を止める有効な手立てを持ちえぬ状況に忸怩たる想いでいます。

2 徐々に水嵩が増すように今の傾向が進むでしょう。それを弱めるカギは居住系施設と公的インフラの対応にあると思われます。関門の将来は、「圧倒的な存在である海峡の自然景観を、各々固有の歴史的文化遺産を尊重した景観づくりをおこなった両岸のまちが彩る。その景観やまちづくりは、住民参加型であり、自然と人工物のバランスが程よく整えられており、書割的ではなく奥深く感じられ美しい。」となればいいと思っています。

3 景観については誰もが担い手という認識が共有され、問題を自由闇達に理性的に語りあえる環境整備がなされることが大切です。でもそれは簡単にできることではなく、今はその途上ですから、守るために調整は必要です。余剰箱物の撤去、延命的修繕の機会を利用し、壁面量、高さ、色等の諸要素に密度を絡めて検討するとよいと考えています。又、新しい良質なものを見出し、趣のある景観に育ててゆくことまちの歴史・文化的な厚みを増すことに努力することも必要です。これらのことにつきましては職能者の力が必要とされねばなりません。その職能は生かされるべきですし、必要とされなければ自立する場を失います。私は生活者・職能者として能動的に創造的に関わることを望んでいます。

4 海峡を中心とした景観を、多くの人々が育み伝えてくれました。私たちはそれを更に豊かにして伝える為に力を合わせるべきです。関門は世界に類をみない自然とまちが一体的に感じられる良質な景観をつくり得る素質を備えている稀有なところなのです。



昭和57年頃より門司港で建築の設計を行っています。門司在住30年超となりました。

そのころの門司港はまだレトロで注目される前、趣はあるが廃れたまちの印象でした。

その後約10年を経て始まったレトロ事業で、まちはドラスティックに、創り変えられ今日の門司港となりました。

私がこの時期に居合わせ、まちづくりに関わったのは幸運であり、経験は財産となりました。

まちへの強い想いの源はここにあります。

## [6話] 10年記念のメッセージ

### 関門景観審議会 委員 大坪 和子 さん



北九州市景観アドバイザー、佐世保市景観アドバイザーに約30年に亘って携わる。

平成2年色彩計画研究所設立。景観、建築、土木構造物色彩計画及びデザイン監理に携わる。大分自動車道景観設計、関門トンネル人道壁画デザイン、東田開発再開発景観設計、戸畠駅南口景観設計、国交省作業車デザイン、北九州市マンホール蓋デザイン等。

#### 魅力的で住み心地の良いまちづくり、両市が連携して、 関門景観をもっと大切にしていくことが出来たら素晴らしい

- 1 基本的なルールを守るという消極的な守りの姿勢であったと思う。壊れてしまったら、取り返しのつかない景観の大切さをもつともつと浸透させていかなければいけない。
- 2 積極的に景観を守り、つくり出すことをしないかなくてはいけない。行政で出来ること、たとえば、風致地区の見直し、遠景の景観、海から两岸を眺める景観、两岸から海を眺める景観、住民への心遣い、訪れる人への心遣い、心地良さ、どちらも大切である。
- 3 審議会という話し合いの場が出来たので、この10年間、基本的なことを整理してきましたが、これからは積極的に魅力的な景観をつくり出していくように出来たら良いと思う。
- 4 魅力的で住み心地の良い街づくり、両市が連携して関門景観をもっともっと大切にしていくことが出来たら素晴らしいことと思う。10年間、努力してきたことを基本として、さらなる飛躍を楽しみにいたします。

### 関門景観審議会 委員 河邊 政恵 さん

#### 行政の縦割り組織を超え、関係する部局の活発な意思疎通と ビジョン形成を実施し、官民が協力し合ったまちづくりの実現を願う

##### 関門景観条例10周年によせて

私は門司で生まれ育ちました。朝に夕に、そして季節によってその表情を変える関門の景観は私の原風景であり、この上なく大切な宝物です。不動産業という職業柄、都市計画に関する法は身近ですが、関門景観条例が制定された当時、街並みが互いの景観として財産となっていることを認識し、下関市・北九州市の両市が共同して守るという取り組みを大変素晴らしいと思いましたし、市民の一人として誇らしく感じたことを覚えています。

北九州市に住む私は、日頃、対岸に広がる下関市のウォーターフロントを眺めています。特にライトアップされた夜は大変美しく、ロマンティックな下関の景観を多くの北九州市民が楽しめていることでしょう。では、下関市民の方々は北九州市の景観をどのように感じているでしょうか。

都市は生きものです。長い年月とともに街は刻々と変化していきます。街並みが通りの数軒で構成されるわけではなく、海峡を船舶で通過する世界中の人びとのための景観でもあります。行政区を越えたエリア遺産の構築に期待しています。

す。

現在、北九州市沿岸エリーアー帯は港湾法の臨港地区指定がなされているため、有効な土地利用の促進が充分に行われていないケースが見受けられます。北九州市都市計画マスター・プランには、関門エリーアーのウォーターフロント部は「市街地臨海部の再生や街なか再生に向けて新たな土地利用を進める」と明記されています。しかしながら、順位を優先する法を管轄する部局と意見調整を重ねた上で、都市計画を行わなければ、それは実現性の薄いものでしかなく、市民が主体となって時流に沿ったまちづくりを実行することは困難です。50年、100年を見越し都市文化をどのように育て、継承していくのか。関門景観条例10周年を節目に、より一層活発な意思疎通とビジョン形成を実施し、官民が協力し合いこれからのまちづくりを実現できればと切に願います。

関門の景観は、関門海峡を挟む双方市民の貴重な財産であるばかりでなく、海峡を船舶で通過する世界中の人びとのための景観でもあります。行政区を越えたエリア遺産の構築に期待しています。



(株)リバー不動産  
代表取締役社長  
北九州市立大学法学部法律学科  
卒業  
大好きなわがまち北九州市の方々の、お役に立てる不動産業者を目指して日々精進。  
現在、海上保安友の会七管支部監事、北九州市にぎわいづくり懇話会企画調整委員、北九州市スポーツ推進審議会委員、(公社)福岡県宅地建物取引業協会不動産相談員。所属団体:福岡経済同友会、(一社)北九州中小企業経営者協会、海上保安友の会、北九州ミス21OB会、北九州ゾンタクラブ、北九州のもり光繼会。

## 関門景観審議会 委員 仲間 浩一さん



のべ20年勤めた大学（東京工業大学および九州工業大学）では、地域計画・景観デザインの専門家として働きました。さまざまな地域における公的計画の策定や公共空間のデザインに携わった経験や、自転車を使った地域体験のためのイベント運営の経験等を基盤として、大学を早期退職して「トレイルバックス」を2012年4月に設立。現在は、平戸や四万十などの重要文化的景観選定地域でのツーリズム支援を中心に活動しています。

## 多様な生活が営まれる場へと、水際の姿をダイナミックに変えていく施策に、公民一体となって知恵を絞って取り組んで欲しい

景観づくりという活動は、建物や橋などの実際に目に見える環境のデザインをきちんと行つていく、という考え方と、見えている景観に新しい解釈を生み出して、市民みんなが大切に思える価値を生み出していく、という考え方との、両方が同時に求められているものです。関門景観では、前者は都市計画や景観政策の法令、制度が相応に整っており、実務的なデザインアドバイスを行った実績も積み重ねられてきました。現状や従前の成果に穴が無いとは言いませんが、制度を改良しながら将来に向けて取り組んでゆく方向が、それなりにはっきりと見えていります。

一方、後者についてはどうでしょう。海峡を挟んだ門司と下関での、市民の皆さんの関門風景に対する思いや、この場所を舞台に経済活動を展開しておられる民間事業者の方々の関門海峡という場所に対する敬いは、日々深まっているでしょうか。努力を重ねておられる団体の

方々や、関門景観の両市の施策にご理解下さる事業者の方も勿論少なくありませんが、私の目にはもう一つ厚みやつながりが足りず、また将来に向けた関門景観に関するビジョンについての議論も欠如しているように映ります。

これを解決するために、私は海峡に面した生活場所を増やし、そこで体験の機会を増やすことが有効に働くと考えます。開放的で大作的な業務空間から、多様な生活が営まれる場へと、水際の姿をダイナミックに変えていくという施策に、公民一体となって知恵を絞って取り組んで欲しいと思います。共有できる強い価値やビジョンは、生活に根付いた体験の多様性があつて初めて生まれてくるものです。関門景観を作ってきた両市のエネルギーがまだ熱いうちにこそ、生活時間を水際に持ち込むという次なる展開をしたたかに企んでほしいと願っています。

## 関門景観審議会 委員 松下 美紀さん

夜間景観を夕暮れから深夜までの時間軸で考える必要がある  
積極的なまちづくりのための光環境を忘れてはならない

1 関門景観では見る・見られるという関係性から相互の景観の調和と調整がこの10年で進められてきました。建築物の高さや色彩、ボリュームそして夜の照明まで新しい建物が計画されるたびに検討がなされ、少しづつ美しい景観が整ってきました。歴史あるこの地域では新しいものと古いものが混在する面白さもあります。それぞれの場所にそこに合った色彩やサイン、照明が計画されて魅力あるたくさんの場所が増えてきたと思います。

2 個性ある建物や彫刻などの「点」としての視点、それを繋ぐ道路や橋などの「線」としての視点、そして海峡を観る関門の景色としての視点である「面」。点と線が繋がって面を形成しており、小さなもののが集合が景色を創っています。景観を考えるときには、自分の窓明かりが美しい夜景を創っているという意識を持って頂けるようになっていてほしいと思います。

3 照明デザイナーとして関門景観の将来を描くとき、市民が散歩をしたり来訪者が散策したりと出歩く時間帯には、賑わいのある楽しい光が水際を彩り生活に潤いを与え、深夜には秩序ある安全の光がきちんと整備されているように、夜間景観を夕暮れから深夜までの時間軸で考える必要があると思っています。積極的なまちづくりのための光環境を忘れてはならないと考えています。

4 これからも照明デザイナーの視点を持つて、昼だけでなく夜間も美しい景観を創る一助になるべく力を傾注していきたいと思います。夜間は昼間見せたくないものを闇に紛れさせて見えなくすることもできます。しかし、昼間の景観が素晴らしいことで、より美しい夜間景観になると信じています。それから、海峡のシンボルはそれを繋ぐ関門橋です。ぜひ、色彩や照明などのデザインを見直して、どこの国の橋にも負けない美しい関門橋が創出されることを期待しています。



1989年  
松下美紀照明設計事務所を設立。  
日本全国のプロジェクトへ参画し、  
重要文化財の照明デザイン、国立公園やまちの照明ガイドライン制作、  
教育施設、文化施設、医療施設、交通機関から商業施設まで幅広い分野の光環境を創出している。  
1993年より、タイ、韓国、中国、台湾など福岡を中心に約3500km圏内のアジア諸国における照明デザインも数多く手掛ける。  
また、照明デザインに関するアドバイザー、審議会委員、大学の講師を務める。

## [6話] 10年記念のメッセージ

### 関門景観審議会 委員 森 邦恵 さん



下関市立大学経済学部准教授。  
1975年北海道生まれ。北海道大学  
経済学研究科博士後期課程単位取得  
退学。博士（経済学）。北海道大学  
経済学研究科助手を経て、現職。  
専攻は、応用ミクロ経済分析。景観  
などの環境アメニティを経済学的に  
評価することをはじめ、様々な財・  
サービスの品質の価値を測定すること  
を研究対象としている。

#### 景観の価値を高めるためのインセンティブを人々に与えることを考えていきたい

- 1 私が下関市立大学に赴任して、8年がたとうとしています。出身の函館市と同規模の都市であり、また海峡に接している点には赴任当時から親しみを感じておりました。海峡景観に関して函館と大きく異なるのは、対岸との距離感や海が作り出す雰囲気ですね。初めて関門海峡を目にしたときは、海とは思えない幅の海峡を、船舶が所狭しと行き交う風景に大変驚きました。
- 3 景観の価値は、誰かが決められるものではありません。そこに暮らす、その時代に生きる人々が作りだすものもあります。  
時の流れとともに、移り変わる部分もあるでしょう。古きと新しき、伝統と革新が共存し、長きにわたり人々が引き継いでいけるものであって欲しいと思います。
- 4 経済学の立場から、規制による負担感だけを人々に与えるのではなく、景観の価値を高めるためのインセンティブを人々に与えることを考えていきたいと思います。どのような風景がその先に待っているのか、楽しみにしています。

### 関門景観審議会 委員 吉光 純也 さん

#### 広告物・サインが、インパクトを損なうことなく景観にマッチするものを 目指すべきと教育の現場で学生に伝えることが自分の役割

- 1 新築の建物に関しては、景観にマッチして、色彩など不自然な組み合わせで目立てば良いというようなものが少なくなって来ていると感じています。ただ、新築ではないものや小規模のもので、少し景観にそぐわない印象のものもあるのが残念です。  
これまで提案された事案に意見を伝えるタイミングが結構遅く、また施工業者によっては企業方針とかで対応しようとしている姿勢の方もいて、この地区は景観に対する認識が違うということをもっと全国に啓蒙していくことが必要だと思います。
- 2 景観に即した建物が増えることで、関門地区的景観がどのような個性を持つてくるのか楽しみです。この地域の個性とは、もっと長い歴史の中で築き上げるものだと思いますが、フィレンツェやパリ、京都などのように関門地区ならではの個性的で且つ活気のある景観が形成されることを夢見ています。
- 3 広告物・サイン関連に課題が残っています。デザインの世界では、個性を出すために奇抜さを求めてしまうこともあります。広告物・サイン関連が、インパクトを損なうことなく且つ景観にマッチするものを目指すべきということを、大学などの教育する現場で学生に伝えることが自分の役割かなと思います。
- 4 関係する人たちだけでなく、多くの住民などが参加して、関門地区的景観をどう形成したいのか共通の認識を持ってほしいと思います。商品開発の仕事をしていたとき、色彩や意匠にこだわりのある流通グループがあり、そこに出店するメーカーや利用する消費者にも誇りのようなものがありました。同様に、景観に優れた関門地区に住み仕事をすることがステータスになるような、他地域の見本になるような都市になってほしいと思います。



1953年山口県生まれ  
東京芸術大学卒  
ライオン(株)パッケージデザイナー  
山口大学教育学部助教授  
山口情報芸術センター事業統括  
東亜大学教授／副学長を経て  
現在 東亜大学芸術学部／大学院デザイൻ専攻客員教授  
元山口県美術展覧会運営委員会会長  
元山口県文化振興財団理事  
元山口国体常任委員／広報県民運動委員長  
下関市くじらシンボルマーク審査副委員長 など

## 下関市デザイン委員会 会長 中園 真人 さん



下関市景観審議会デザイン委員会会長  
下関市都市計画審議会委員  
山口大学大学院理工学研究科 教授  
専門分野：建築計画学・建築設計

### 海峡の見える都市景観は大きく変貌している 将来の関門景観を見据えたビジョンとアクションが求められる

関門海峡は津軽海峡に比べ本土と九州の距離が極めて近接する独特の地理条件を有し、特に関門橋が架かる最狭部は潮の流れも速く、船舶の運航にも細心の注意が求められる。歴史的にも北前船の航路となり、海運・国防の要衝の地であり、島国日本の中でも重要な海峡としてその役割を果してきた。

海峡两岸には下関・門司の都市が形成され、海運・貿易・漁業の拠点として発展した歴史を有す。今日、両都市の機能は大きく変化したが、海峡两岸に広がるまちなみと関門橋は、日本有数の海峡都市の景観を形成している。

門司地区では門司港駅を核とする「門司レトロパーク」が整備され、下関市では「海響館・かもんワーフ・唐戸市場・海峡メッセ」等の一連のウォーターフロント整備がなされ、北九州・下関両市の観光拠点としても位置付けられており、その相乗効果は極めて大きいものがある。

近年下関・北九州両市はこうした海峡都市景観の魅力をさらに高めるため、協同して景観行政に取組んでおり、海峡花火大会を始めとする各種のイベントや景観形成ルールの協同作成、関門景観審議会・デザイン委員会等を通じた情報交換や景観行政に取組んでおり、自治体の枠を超えた注目すべき景観行政といえる。

一方関門海峡が有す景観の魅力は民間分譲マンション建設の適地ともなり、近年下関側を中心に海峡沿いに高層マンション建設が進行しており、海峡の見える都市景観は大きく変貌している。こうした動向のコントロールは景観法に基づく行政指導のみでは限界があり、今後は地区計画の策定や海峡景観を眺望する視点場の整備等、公共が主体となり取組める施策を展開し、中長期的観点から将来の関門景観を見据えたビジョンとアクションが求められる。

## 門司港まちなみづくり協議会 事務局長 城水 悅子 さん

### 美しい景観づくりには、 自然に対する謙虚な気持ち、歴史を尊重し他に配慮する心が必要

1 平成14年の門司港レトロへの観光客数は約211万人、和布刈は133万人と報告されていますので、門司港地区はすでに立派な観光地として認知されつつありました。

その魅力が、関門海峡を挟んだこの美しい景観にあることを市民も行政も再認識し、その保全のために「関門景観条例」が制定されたと思います。

二つの市に共通する条例の制定は画期的なことでその後の地区指定と指針に従って、お互いのまちから見た景観に配慮する取り組みは関門連携の総合力を高め、まちづくりにかかわる私たちにとっても大きな拠り所となっています。

まちづくり団体「門司港レトロ俱楽部」の一員として様々な活動にかかわる中で、観光地として有名になり開発が進むことを喜ぶ反面、歴史的な建築物が壊され、マンションや駐車場、安い商業ビルが造られ、派手な看板が目立つようになる等、良好なまちなみの保全に危機感を覚えるようになりました。

景観に配慮することが魅力を生み出すことだと、俱楽部の会員を中心に平成16年から勉強会を始め、ウォッキングやワークショップを重ねながら平成19年6月に約30の団体が参加

して「門司港まちなみづくり協議会」を設立しました。現在、景観講座の開催や建築や景観、歴史的建築物活用に関する相談窓口として専門委員がアドバイスを行っています。

協議会では独自の「景観ガイドライン」を作成しましたが、景観条例はその大きな手引きとなりました。

2 関門景観は二つのまちと海峡と、海峡を航行する船で形成する独自の景観です。この美しい財産をぜひ守っていきたいと思います。

3 美しい景観づくりには自然に対する謙虚な気持ち、歴史を尊重し他に配慮する心が必要です。協議会の活動も建築にかかわる仕事としてもその心を大切にしたいと思います。

4 「景観十年、風景百年、風土千年」という言葉があります。損なわれる運命にある風景を人間の叡智で美しく受け継ぎ、千年後には歴史や文化も含めた関門文化圏の風土となることを信じて…



北九州市出身。(株)洋建築計画事務所代表取締役。  
NPO法人門司まちづくり21世紀の会理事、門司港レトロ俱楽部監事、門司港美術工芸研究所理事長等。  
まちの50年後、100年後の姿を想像しながら、資源を活用し、品格を保ち、付加価値をつけるまちづくりに留意し、特に、質の高い文化や景観づくりは時間と人々の共感が必要と考え、門司港まちなみづくり協議会の活動を通して、美しい関門の景観と歴史的建築物に彩られた特色ある門司港の佇まいを守り育てたいと思っています。

## 公益社団法人 福岡県建築士会北九州地域会代表 開田 一博 さん



昭和19年5月17日 熊本県山鹿市生まれ。

昭和45年4月 新日本製鐵（株）（現新日鐵住金株式会社）入社。八幡製鐵所配属。

以後、建築、土木施設の計画、設計、建設、維持管理及び社有地開発に従事。

平成8年2月～平成15年3月  
（株）新日鐵都市開発（現新日鐵興和不動産）へ転籍。

マンション、戸建て住宅の宅地開発、建築設計、建設、販売、アフターに従事。

平成19年5月～平成22年3月 北九州産業技術保存継承センター（KIGS）研究員。

平成22年5月～ 社団法人福岡県建築士会副会長及び北九州支部支部長。

資格 工学博士、1級建築士など

### 魅力的な閑門景観を追求していくためには、 まず市民の認識をもっと高める必要があると思う

1 私は建築士会主催の閑門景観ウォッキングという企画を通して閑門景観と関わってきましたが、10年近い継続活動の中から双方の市民の意識が確実に変化しているように感じています。それは今まで当然のように思っていた自分達の町の景観が、他に無いとても素晴らしい所と再認識し始めたことです。その市民意識の向上と共に、行政による制度、仕組みの制定もあって、街の風景も徐々にではあります整備されつつあると思います。

振り返ってみると、双方の街をお互いに見て回るという単純な発想から、他の数名の建築士会メンバーとで発案したイベントが今日まで継続、かつ進化して、何らかの形で社会に貢献しているという現実に、喜びとここまで支えて頂いた人達への感謝、そして今後の継続を願う気持ちで一杯です。

2 閑門海峡を挟む両市が一体となった町として認識されるような状況を将来の姿として思い描きます。それは例えばトルコのイスタンブールやハンガリーのブダペストのような街

の形態が、機能的にも制度的にもとれないものかと考えます。そうすることで街の魅力は一層高まるものだと思います。

3 魅力的な閑門景観を追求していくためには、まず市民の認識をもっと高める必要があると思います。そのため行政及び一般団体や市民がどのような活動を行えばよいか、より真剣に検討し、自分達の問題として捉え、身近なところから行動に移していくことが重要と考えます。私は建築士会という団体の活動を通じて、この魅力的な閑門景観の形成運動に関わっていく所存です。

4 国内はもとより、外国も何度も見て回った経験から、閑門景観のように素晴らしい所はそうザラには無いと言えます。この価値観を皆が共有し、もっと広めていく努力が必要と痛感します。それには例えば学校教育や市民講座の場でのテーマ等が考えられます。特にこれから未来に進む若者達にこの推進を期待します。

## 社団法人 山口県建築士会下関支部長 松原 晓宏 さん

### 景観はテーマのある建物とその質によって誘導されることが望ましい

#### 景観づくり活動

景観をより良くしていくには、より強い法令化と誘導・啓蒙・公共意識をヨーロッパ並に高める事が必要となる。兎に角、質の高い建物や環境以外は造らないぐらいの、意識がほしい。

建築士会の地道な活動を続けることも、大切にしていきたい。

1 景観も経済状況により変遷するもので、民間企業の投資が少なく、官庁や閑門景観への影響の多い集合住宅（マンション）により彩られて行ったように思います。

下関の建築士会も北九州の士会と合同で、閑門ウォッキング・セミナーの3回目（現在8回を終え）にマンションの景観への影響をテーマに取り上げた経緯がありました。

2 今の進行状態は余り変わらないと思う。景観条例の審査もその段階で認識されていることと現場での変更されていることは、審美的罰則規定の無い為、已むを得ない事と思います。

3 景観条例は主に色彩巾の制約による統一性に働いていますが、景観はテーマのある建物とその質によって誘導されることが望ましいと考えています。

4 例えばグランドホテルから見ると、陸橋を美しい橋に変えるとか、広いデッキ通路に変えること。秋田商会と隣の塾の建物の不調和を指導する。英國領事館と前の三角公園の一體庭園化する等。意識的に美的に変貌させる施策がほしい。



松原晓宏建築設計工房代表  
建築設計・監理業  
一級建築士  
建築士会支部長  
信条：健康で、美しい物以外は造らない。

## 財団法人下関21世紀協会 常任理事 原 和人 さん



(財) 下関21世紀協会 常任理事  
山口県景観アドバイザー  
(株) 原工務店 取締役設計管理部長  
一級建築士

## 人の営みが繋がり、これからの10年、20年先の具体的な目標を両市で創り共有していくことが、景観を創造すること

## 景観を創造する

世界に誇れる海峡、その財産を次代にどう残し、活かし、伝えていくか。制定10年が経過して、その難しさに直面をしている。いや、直面をしていることを感じなくなってきたている、というのが現実であろう。

それは、目標の中にある、守り、育て、創るという部分の具体的なアクションプログラムの欠如と、目標を達成するための人の力、人の思いの強さ、本気さが市民に伝わってこなかつたということである。その結果、海峡の水際にマンションが乱立しても、海峡の景観を阻害していると感じることすら薄れてしまってきていているのである。

自然の美しさと日本の節目の歴史を演出した舞台。そこでのものづくりは、偽物は創れない、いい加減な感性では造れない、そんな緊張感を常に両市、両市民が持ち続けていなければならぬ。そのためには、常に目標を達成するためにあらゆる多様な場面で景観形成の大切さを訴え続けなけ

ればならない。まちが機能していくための整備の中で、市民が日々の営みの中で、観光という視点の中で、市街地活性化という取り組みの中で、関門景観を守り、育て、創るために何が大切な議論し訴えかけていくことが大切である。

我々が取り組んできた関門海峡花火も四半世紀を超え、関門景観を彩る一つの文化になってきたと自負している。想いを伝えていくことで人の力が結集され、継続し発展していく一つの事例である。関門景観条例も具体的に市民レベルで取り組める事例を提案し、継続していくことで景観形成の大切さを伝えていくことがこれからの課題である。花いっぱいの道が繋がり、自転車道が繋がり、祭りが繋がり、海峡の歴史の点が線でつながっていく。そんな人の営みが繋がりこれから10年、20年先の具体的な目標を両市で創り共有していくことが、景観を創造することであり、今、大切なことではないだろうか。

## NPO法人門司赤煉瓦倶楽部 会員 市原 猛志 さん

## 一市民として、よい景観、問題となる標識や建造物について、より議論が深まっていけるよう提案・提言を行っていきたい

1 関門海峡の流れは悠久の時を刻むけれど、ここ10年を振り返れば、両岸の町並みは大きく変わったように思う。歩いてみると、海峡プラザを歩く人たちは若者が多く、なるほど門司港レトロ事業の開業当初から比較すると、客層が若返ったのではないかと思う反面、肝心のレトロ事業を支える基盤となる近代建築は、確実にその姿を消していっている。その原因自体が皮肉にもレトロ事業の成功であるから、何とも言えないようがない。

2 この関門海峡のこれから10年を考える際、両岸の連携は今後ますます大事になっていくだろう。互いの町並みの姿を見ることのできる関係は、「見られる」ことを意識させるには十分といえよう。マンションの建設など景観を取り巻く情勢は今後も厳しく、それに比べ景観条例それ自体は罰則規定を設けないなど、条件も整わない中、よりよい景観を望むことはなかなかに難しい。

3 将来統一感のとれた景観を維持・向上させていくためには、関門景観条例でガイドラインが示されている色彩の統一やスカイラインの確保など、徹底すべきことは数多い。景観法の制定や国の文化財行政のカテゴリーで「重要文化的景観」が設けられるなど、景観に対する意識は年々高まっており、その中で官民が連携した統一感のとれた景観への取り組みは今後ますます必要となっている。私は一市民としてよい景観、問題となる標識や建造物について、より議論が深まっていけるよう提案・提言を行っていきたい。

4 関門海峡はふたつの自治体にまたがっており、統一した歩調をとることはどうしても難しい。しかしながら、「一衣帶水」という言葉もあるように同じ水の流れを見ている人間同士で協力し合っていかなければ、今後の成長も難しいといえよう。その中でひとりひとりが常に互いに見られることを意識しながら、新しいものを作ることを創造的に行っていかなければならない。関門のこれから情報発信に期待するばかりである。



北九州市出身。  
大学生の頃より近代化産業遺産の研究を行う。  
九州産業大学景観研究センター、九州国際大学客員研究員・非常勤講師、NPO法人北九州COSMOSクラブ理事等。  
北九州をはじめ、九州地方の産業遺産についての現存状況やその特徴に関する研究等を多数行う他、門司港の料亭「三宜樓」や旧小倉警察署等の保存活動を行う。  
平成25年4月より北九州市門司美酒煉瓦館の館長に就任。

藤本秀志デザイン事務所 代表 ふじもと 秀志 さん



イラストレーター、グラフィックデザイナー  
 '55年 山口県生まれ  
 '80年 第3回N A C展【日本広告技術協議会】・  
 (東京／銀座)  
 '95年「日本デザインコミッティー」選抜秀作展・  
 (東京／銀座)  
 '95年 F A X ポスター展(フランス／パリ)  
 '97年 世界遺産ポスター展【日本グラフィック  
 デザイナー協会】・(日本／全国)  
 '99年 リトアニア【現代日本ポスター展】・(リ  
 トニア／ヴィリニュス)  
 '02年 「I W C 国際捕鯨委員会」記念切手デザ  
 ン制作  
 '02年 日本(下関市)・トルコ(イスタンブル市)  
 「姉妹都市締結30周年記念」記念壁画・版画制作  
 '03年 第37回 S D A 賞地区デザイン賞【日本サ  
 インデザイン協会】  
 '04年 下関市・青島市(中国)「友好都市締結  
 25周年記念」記念碑制作  
 '05年～'11年 個展・グループ展  
 '13年 どうぶつは地球家族展【東京グラフィ  
 クデザイナーズクラブ】(東京／銀座)  
 [作品収録]  
 年鑑日本のグラフィックデザイン(講談社)、JA  
 GDA年鑑(六耀社)、THE IMPERIAL  
 誌(英文誌)、日本クリエイターズ年鑑、リトアニ  
 アデザイン誌 e t c.  
 藤本秀志デザイン事務所代表・山口県下関市在住

### 素晴らしい閑門の景観パノラマは、私にとって景観の宝 両市民のまちに対する誇りと愛着を深めつつ、色彩感覚の意識を高めて

- 1 全国的に都市景観への取り組み機運が高まる中、私が見る限り色彩の氾濫を抑えた落ち着きのある街並みに変わってきたように思います。
- 2 海峡を挟んだ素晴らしい閑門の景観パノラマは海峡をテーマに風景版画の創作を続けている私にとって景観の宝と感じており、この素晴らしい景観の保全には両市民が色彩意識をもつて是非、守っていって欲しいと希望します。ただ、鮮やかな色を抑制することのが最善ではなく閑門景観らしさを出した「個性ある美しい景観」の色彩づくりも必要かと思います。もちろん、都市景観は一定の色調に進めていくことは景観形成の推進においてとても重要だと思いますが「わび・さび」を感じられる絵画のような街並があつても素敵ではないでしょうか。
- 3 歴史あるヨーロッパの町並が今も心地よいと思われるのは市民の町に対する特別な誇りと愛着ではないかと思います。今後、閑門景観も両市民の町に対する誇りと愛着を深めつつ芸術とは異なる景観調和としての色彩感覚の意識を高めることが重要だと思います。
- 4 普段見慣れた風景を改めて見直して素晴らしい景観とは何かを考えつつ、「市民・業者・市」の方々が「景観意識」を地道に継続していく事が将来の「美しい閑門景観の形成」につながるのではないかと思います。

株式会社ヤマグチ 代表取締役 山口 仁 さん

### 両市は海峡で隔てられているのではなく、海峡で結ばれている 子孫から預かっている景観をそのまま返すのではなく、より美しく

#### 閑門のまちなみ

熊本出身の私にとって「閑門」がごく身近な存在になったのは25年前。妻の実家がある門司港で暮らすようになってからです。以来、まちの表情は大きく様変わりしましたが、海峡に沈む夕陽、海峡を渡る汐風など、どんなに時が流れようと言わらないものもあります。

閑門海峡を挟んで対峙する下関市と北九州市。歴史の舞台にも度々登場し、それぞれ重要な役割を担ってきました。この本州と九州の二つのまちは、海峡の最も狭い所ではわずか650mしか離れていません。2001年には「閑門景観条例」が制定されるなど、二つのまちは一体となって景観づくりに取り組んできました。両市にとってかけがえのない財産である閑門海峡をフラッグシップに、港町らしさを生かしたまちなみの整備が、今も着々と進んでいます。両市は海峡で隔てられているのではなく、海峡で結ばれている。この意識が、これからのがんばりの閑門景観を考えていく上で一つのキーワードになるような気がします。

「自然は先祖から譲り受けたものではなく、子孫から預かっているものだ」。ネイティブアメリカンに、こんな言葉が伝わっているそうです。これは閑門の景観にも当てはまります。預かっている景観をそのまま子孫に返すのではなく、より美しい姿にして返したい。そのためには、変えてはいけないものを大切に守りながら、時代に合わせて人が手を加えていくことも必要になってくるでしょう。

閑門の景観が子孫からの預かりものなら、まちなみは今を生きる私たちの足跡です。まちなみからは、そこで暮らす人々の温もりや息吹が感じられます。人の思いが、まちを創り、さらに景観を彩っていくのです。そう考えると、海峡を挟んで見合う両市の市民が、これからはただ見合うのではなく、同じ方向を見つめて協力し合っていくことがありますます大切になってくると思います。

100年後、私たちの子孫はどんな閑門の景観を眺めているでしょうか。私たち一人ひとりの想像力と感性が今、問われています。



1951年生まれ。  
 多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。

株式会社ヤマグチ代表取締役。  
 1995年より官民一体となったまちづくり団体「門司港レトロ俱楽部」において情報紙「レトロタイムズ」の編集長を15年間務める。  
 2012年、ロゴマーク、会社案内などを制作した「門司港サイロ株式会社」が第6回北九州市都市景観賞の「屋外広告デザイン賞」を受賞。  
 趣味は門司港の人やモノなど街の宝探し。

- ◆ 両市内等で巡回展示を開催しながら、関門景観の魅力を伝え、関門景観づくりの意識の醸成に努めています。

### 巡回展示会の実績

- 関門景観の未来いろいろ絵画 入賞作品
  - ・ H23.10.22~11.6 関門海峡らいぶ館（北九州市）
  - ・ H23.11.7~11.18 下関市役所本庁舎1階ロビー
  - ・ H23.12.12~H24.1.5 北九州市役所本庁舎1階ロビー
  - ・ H25.3.29~12 下関市役所市民サービスセンター（仮称）  
新築工事仮囲いディスプレイ
  
- 五感で感じる関門景観・10選 パネル展
  - ・ H24.8.25~9.9 関門海峡らいぶ館（北九州市）
  - ・ H25.4.11~ 下関市役所食堂にて常設
  
- 関門景観の取組みPR
  - ・ H24.8.25~9.9 九州国立博物館内ロビー  
(福岡県太宰府市)
    - \* 福岡県美しいまちづくり協議会景観大会にて
  - ・ H24.8.25~9.9 コレット井筒屋（北九州市）
    - \* 景観コレクション in キタキューにて



絵画展示 関門海峡らいぶ館にて



10選展示 下関市役所食堂にて



絵画の仮囲いディスプレイ



10選展示 関門海峡らいぶ館にて

#### 展示会場での 「関門日記」 のコメント

岐阜県から来ました。  
これからトンネルを歩いて渡ります。

小倉から来ました。  
楽しかったのは、電車に乗れたのが楽しかった。

京都から初めて来ました。  
天気に恵まれ、素敵な関門海峡の眺めに感激しました！機会があれば是非また訪れたいです。

展示会場で「関門日記」ノートに、来場者のみなさまより自由にコメントをいただきました。

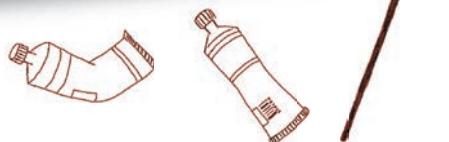


とても素晴らしい街です。  
大好きです。

千葉県から来ました。  
これから九州を周ったあと、再び訪れる予定なので、今度は下関側からも眺めてみようと思います。

兵庫から青春18切符で来ました。  
とても素晴らしい景観、感動しました。  
生徒に伝えます。

両市内や各地から  
お越しいただいたみなさま、  
ありがとうございました！



## [8話] 関門景観.com

- ◆ 関門景観ポータルサイトで総合的な景観づくりのご案内をしています。



関門景観ポータルサイトで、最新情報を発信しています！  
ぜひご覧ください。

<http://www.kanmon-keikan.com/>

10のアクションページを平成25年4月に設置しました。  
関門景観のひとつひとつのがたりをご覧ください！



## [9話] 10のアクション本

- ◆ 関門景観のこれからの10年を考えるきっかけになることを願って、この10のアクション本「関門景観ものがたり」をまとめました。

## 10のアクション本の伝えたいこと！

- 関門景観の未来を考えること
- 関門景観に関わるみなさんの思いを伝え、共有すること
- 関門景観づくりでのわたしたちの役割を見出すことが重要であることを伝えたいと考えています。

景観づくりは、長く時間がかかるものです。

これまでも、そして、これからも、  
関門景観に関わる方々やこの地域で建築物を建築するみなさまに、  
関門景観についてのご理解を深めていただきながら、  
じっくりと時間をかけて、一緒に関門景観を育てていきましょう。

10のアクション本  
「関門景観ものがたり」パンフレットは  
関門景観ポータルサイトから  
ダウンロードできます！



- ◆ 関門景観に関わる活動を継続している団体のみなさまをご紹介します。

ひとりひとりと関門景観の自由な  
関わりが大事です。

### (社) 山口県建築士会下関支部・ (公社) 福岡県建築士会北九州地域会

- 団体概要
  - \* 山口県建築士会下関支部…建築士業務の進歩改善と建築士の品位向上を図るために、昭和33年に設立。
  - \* 福岡県建築士会北九州地域会…会員の協力により建築士の業務の進歩改善と品位の保持向上を図り、建築文化の進展に寄与するため、昭和62年に設立。
- 活動内容
  - ・ 関門景観の制度の創設を契機に、建築の専門家の立場から関門景観の保全等に貢献するよう、平成16年に関門景観のウォッチングを合同で開催。士会員だけでなくテーマを設けて参加者を募り、幅広い分野や年代を対象に、概ね毎年、関門地域の景観に関する意識啓発を行っている。
  - ・ 平成25年度都市景観大賞「景観教育・普及啓発部門」大賞の受賞



### 門司港まちなみづくり協議会

- 団体概要
  - ・ 地域住民が主体となり、門司港の美しい自然やまちなみの景観を守り・育てるため、景観づくりの計画やルールづくりの勉強会、さらに、具体化に向けた活動を推進し、市民の財産である景観を後世に継承する。平成19年設立。
- 構成団体等
  - ・ まちづくり団体、事業者、企業、建築士会、地元大学等
- 活動内容
  - ・ 景観形成に関する計画やルール等の作成に関すること
  - ・ 景観形成に必要な調整や相談等に関することなど



### 下関景観協議会

- 団体概要
  - ・ 下関市の特性を充分に勘案した個性豊かな魅力ある景観形成推進を図ることを目的に、市内の14のまちづくり団体に呼びかけ、平成6年設立。
- 活動内容
  - ・ 平成12年に「下関花いっぱい計画」を企画し、下関市の中心部において花苗の植え付けを開始。平成13年には活動エリアを唐戸から竹崎町までの国道9号沿線約2kmに拡大。平成14年には、国、市とボランティアロード協定を締結し、国道9号を「海峡花通り」と命名。近隣住民や企業に花の植え付けを呼びかけ、現在では80の団体や企業、住民約400人が参加し、国道や市役所前広場等、公共性の高い場所を中心に花の植え付けを行っている。



### NPO法人 門司赤煉瓦倶楽部

- 団体概要
  - ・ 大里本町に残る大正期に建てられた赤煉瓦建物（旧サッポロビール九州工場建物）などの貴重な歴史的建造物を後世に引き継ぐ保存活動を行い、それを活かしたイベントの開催等、まちづくりに関する事業を展開して、地域の活性化に貢献すること。
  - ・ 全国の赤煉瓦建物にゆかりのある都市や市民団体との交流・連携を図り、赤煉瓦を活かしたまちづくりを支援する活動により、地域の発展と社会全体の利益の増進に寄与すること。平成16年設立。
- 活動内容
  - ・ 旧サッポロビール九州工場の倉庫棟、醸造棟等の保存、管理、活用に関する活動
  - ・ 赤煉瓦建物に関するイベントの企画・開催事業など



関門海峡を感じながら、散歩したり、  
絵を描いたり、ごはんを食べたり、釣りをしたり、  
ゆっくりと海を眺めたり、それぞれの過ごし方があります。  
みなさんの関門景観を大切にしましょう。



## [∞話] 関門景観年表

H10. 8

### 「関門景観協定」締結

関門景観づくりに取組む第一歩として、共同で進めることを確認するため、両市長が協定を締結。

H10. 10

### 関門景観ウォッチング

両市民参加のもと、海峡ウォッチング及びフォーラムを実施。

H11. 7

### 「関門景観基本計画検討委員会」開催

学識経験者、両市民、両行政で構成する委員会で、今後の関門景観形成の方向性を調査・検討。

H11. 10

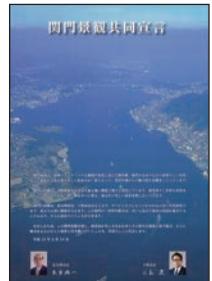
### 海峡市民会議

両市民が関門景観基本計画づくりに参加できるイベントとしてワークショップを実施。

H12. 3

### 「関門景観基本計画」策定

関門の魅力調査、目標と基本方針、実行プラン等。



関門景観共同宣言

H13. 2

### 「関門景観共同宣言」

両市・両市民が共同し、関門景観の魅力を保存・創出に取組み、  
さらに魅力あるものとして後世の両市民に引き継いでいくことを両市長が宣言。

#### ● 関門景観共同宣言

関門地域は、海峡のダイナミックな潮流や変化に富んだ海岸線、緑豊かな山々などの素晴らしい自然、そして歴史や文化が薫る美しい街並みが一体となって、対岸や海からの魅力的な景観をつくっています。

関門の景観は、国際航路を行き交う船と強い潮流で刻々と変化しています。四季折々に多彩な表情をもち、一日のうちでも、朝に輝き夕べに映え、夜はその美しい夜景を映し合っています。

関門の景観は、北九州市民、下関市民はもとより、すべての人々にとってかけがえのない共有財産であり、見る人に深い感銘を与えます。この関門の一体的な魅力は、互いに見合う両市の市民が協力することにより、さらに高めていくことができます。

わたしたちは、この関門景観を愛し両市民が共に力を合わせてその保全と創出に取り組み、さらに魅力あるものとして後世に引き継いでいくことを、共同でここに宣言します。

平成13年2月14日

H13. 10

### 「関門景観条例」・「関門景観条例施行規則」制定・施行

同一名称・同一条文の条例。両市の共有財産である関門景観の魅力を更に高め、将来の両市民に魅力ある関門景観を継承していくために、対岸や海上の船舶からの眺望にも配慮した景観形成を、両市が恒久的に連携して進める。

基本理念、基本構想の策定、市長、市民、事業者の責務、建築等の行為の届出等を規定。



関門景観審議会



関門景観基本構想

H14. 4

### 「関門景観基本構想」公表

関門景観の形成に関する基本的かつ総合的な構想。目標、基本方針等を定める。

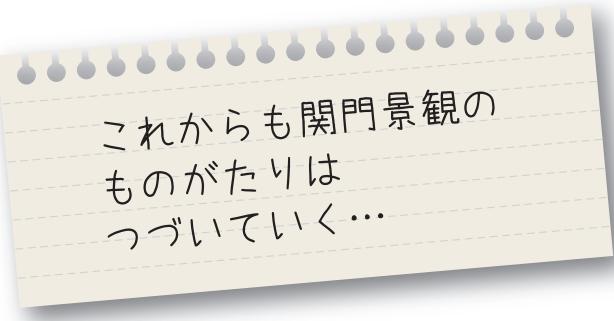


## [∞話] 関門景観年表

H16. 7	<b>「関門景観形成地区」指定・「関門景観形成指針」告示</b> (現在の「関門景観形成地域」) 関門景観の形成を積極的に推進していく地区を指定。指定面積は2,905ha(陸域1,705ha、海峡部1,200ha)。 建築物等の配置や形態、緑化のほか、特に色彩誘導に重点を置いた景観形成基準を定める。	
H16. 8	<b>「関門景観条例」に基づく届出開始</b>	
H20. 6	<b>「関門景観専門委員会」設置</b> 関門景観の形成に特に影響が大きい建築行為等に関して、 関係市の長に対し、専門的な見地から必要な助言等を行うことを 目的とした専門家による委員会。	
H22. 7	<b>「北九州市景観計画」変更</b> (H20. 7「北九州市景観計画」策定)	
H22. 8	<b>「下関市景観計画」策定</b> 各市の景観計画に、関門景観形成地域の区域・方針・景観形成基準等を定める。	
H22. 10	<b>「関門景観条例」改正</b> 目的や基本理念等を継承しつつ、同一条文(付則を除く)として景観法委任条例 (景観計画策定手続きの追加、届出対象行為の追加、適用除外行為の追加)に改正。	
H23. 3	<b>「関門景観条例施行規則」・「関門景観専門委員会規約」改正</b> 自主条例から法委任条例への移行に伴う改正。	
H23. 4	<b>改正「関門景観条例」・「関門景観条例施行規則」施行</b> 「景観法」に基づく届出開始。 自主条例に基づく届出から景観法に基づく届出に移行。	
H23. 10～	<b>関門景観条例制定10周年記念行事</b> 関門景観条例の制定から10年を記念した行事等を開催。	
H23. 10	<b>関門景観の未来いろいろ絵画表彰式</b> 小学校4・5・6年生の10歳前後のこどもたちが描く 「関門景観の未来」の絵画。	
H23. 10・11	<b>関門地区景観ウォッチング＆セミナー</b> 両市の建築士会と共同で、五感で感じる関門景観を募集し、10選を決定。	
H24. 9	<b>後援等に関する事務取扱要綱施行</b> 団体等が開催する関門景観の形成に関する事業について、後援等の基準を制定。	
H24. 10	<b>関門地区景観ウォッチング＆セミナー</b> 両市の建築士会と共同で、お互いの市の「五感で感じる関門景観・10選」を巡る ウォッチングとワークショップを開催。	
H25. 5	<b>都市景観大賞「景観教育・普及啓発部門」大賞の受賞</b> 両市の建築士会と関門景観協議会が大賞(国土交通大臣賞)を受賞。 (活動名:関門地区(北九州市・下関市)景観ウォッチング&セミナー)	

・関門景観審議会16回・関門景観専門委員会(合同会議を含む)13回開催

(\* 平成25年5月末現在)



これからも関門景観の  
ものがたりは  
つづいていく…



#### 連絡先

##### 下関市都市整備部まちなみ住環境整備課

〒750-8521 山口県下関市南部町1番1号  
TEL 083-231-1225 / FAX 083-231-1901  
E-mail tsmachin@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

##### 北九州市建設都市局計画部都市計画課

〒803-8501 福岡県北九州市小倉北区城内1番1号  
TEL 093-582-2595 / FAX 093-582-2503  
E-mail toshi-toshikeikaku@city.kitakyushu.lg.jp

関門景観ポータルサイト <http://www.kanmon-keikan.com/>

編集・発行：関門景観協議会[下関市・北九州市]

発行：平成25年6月